

2021年8月15日、戦後76年にあたり語り部として当時の体験を記します。

高島雅夫

私は1935年（昭和10）生まれの85歳です。世田谷区中里小学校3年生の時一人っ子の私は、夜の空襲警報で防空壕の入り口から東の方を見ると真っ赤に炎上している光景を見て恐ろしさを実感しました。1944年（昭和19）父が中国北京に外交官赴任となり、東海道線で門司に向かいました。前の列車は機銃掃射を受け、門司発の関釜連絡船は機雷で沈没したなど物騒な環境で満鉄特急アジア号に乗り継ぎ北京に到着しました。北京はノンビリした状況でB29爆撃機が高空を飛んでいても皆無関心でした。

1945年（昭和20）8月15日北京東城第二小学校校庭で天皇陛下の玉音放送がありましたが、電波状態が悪く良く聞き取れませんでした。家に帰ると母親が泣いているので何か重大なことがあったと感じました。すぐに外交官住宅から追い出され、父の友人宅に匿われました。日本人を探すデモ隊にヒヤヒヤしました。北京から引き上げるときに、無蓋貨車に詰め込まれた時、中国人の子供たちが石を投げつけて来ても抵抗できず、戦争をしたら負けるものではないと思いました。貨車で天津に移動中にロシア兵の検閲があり、彼等が奪った時計が両腕にギッシリ巻かれている光景は今でも忘れません。

帰還船は米国の戦車揚陸艦（LST）で山口県仙崎港に到着したときやっと無事に祖国に帰れたなど強く感じました。DDTの噴霧で真っ白になっても、お寺で出された白米の握り飯とみそ汁の味は最高でした。東京の親戚を頼り、新宿駅頭に着くと見渡す限り焼け野原で、僅か鉄筋コンクリートの警察の建物だけが残されていました。幸い信濃町の親戚は消失を免れたので寄留しました。食事は米はなく、トウモロコシのお粥とサツマイモなどで常にひもじい思いの毎日でした。

四谷第六小学校5年3組に編入され、このクラスを東宝映画が「子供議会」という民主主義教育のモデル映画を撮影し全国に配布しました。テーマは「雨の日に登校が少ないがどうしたら良いか？」で議長を決めみすぼらしい身なりでも活発な討論があり、クラスの結論を屋上で全校大会に進めるものでした。自分たちで積極的に模造紙に壁新聞を描き、当時多発した水害の新聞データを分析するなど、自分たちが新しい日本の先頭に立つという意気込みに溢れていました。当時の同窓会は80歳まで続きました。

以上

牧壮さんお誕生日おめでとうございます。高齢者へのICT普及の先導者としての益々のご活躍を期待しております。8月15日の動画を観て触発され、私も語り部として記してみます。私は1935年（昭和10）生まれの85歳です。世田谷区中里小学校3年生の時一人っ子の私は、夜の空襲警報で防空壕の入り口から東の方を見ると真っ赤に炎上している光景を見て恐ろしさを実感しました。1944年（昭和19）